

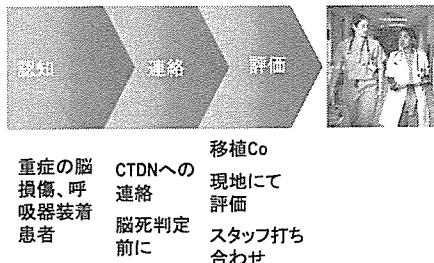
脳死が近い状況での連絡

- 重症の脳損傷、呼吸器依存の患者
- GCS 5以下
- 人工呼吸器や薬剤の停止を予定している場合
- 家族が臓器提供を話題にしている場合

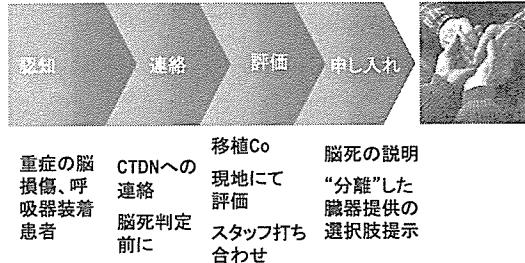
ドナーとしての適応

- 年齢:
 - 新生児から80歳まで
 - 直近の静注違法薬物の使用
- 複数の既往歴
- ホームレス
- 心肺停止患者
- 検査必要症例
 - 他殺/自殺患者
- 多発性外傷患者
- B型肝炎、C型肝炎陽性
- 心肺機能や腎機能の低下

臓器提供の流れ



臓器提供の流れ

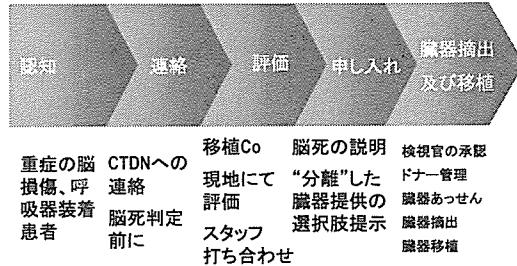


家族中心のケア

- 移植ネットワークの主眼は、家族を支援することである
- 家族がどのような結論を出しても、それは正しい決定であり尊重される
- 全ての家族は、その後も必要な支援を受けることができる
- 多くの家族は選択肢を提供されたことに対して感謝の意を表す



臓器提供の流れ



承諾から摘出までの時間経過

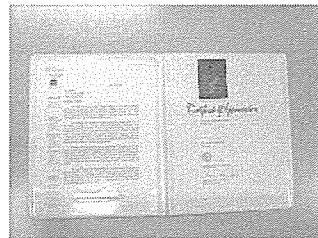
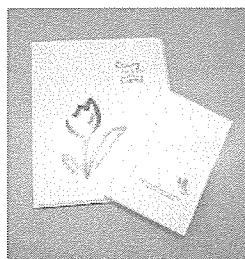
- ① 脳死判定: 病院スタッフから家族への説明
- ② 死の受け入れ後: 臨器提供の説明と承諾、近親者より医学的・社会的背景の聴取 (2-4 hrs)
- ③ 組織適合性検査、提供可能な臓器の評価、葬儀や検索の調整 (8-16 hrs)
- ④ レシピエント選定と意思確認 (3-5 hrs)
- ⑤ レシピエントの移動手段の手配と臓器搬送手段の手配 (3-5 hrs)
- ⑥ 臨器摘出手術 (4-6 hrs)

平均: 24-36 hrs

家族フォロー

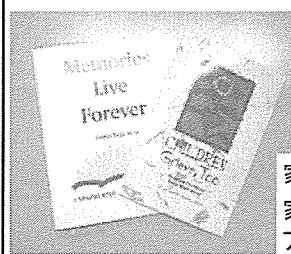
- ・ 臨器提供後に電話連絡
- ・ レシピエントの情報を家族に伝達する
- ・ 電話と手紙のフォロー
- ・ ドナー家族とレシピエントの間で会うことを調整する
- ・ 1年まで継続的な電話連絡のフォロー
- ・ ドナー表彰式典(年1回)

家族フォロー



レシピエントの様子
感謝状
悲嘆支援の冊子

移植患者への手紙の書き方

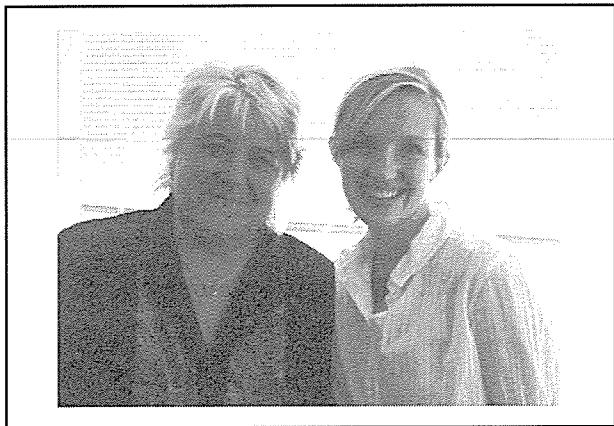


家族を亡くした子供への冊子
家族を亡くした子供の親への
アドバイスを書いた冊子

家族 フォロー

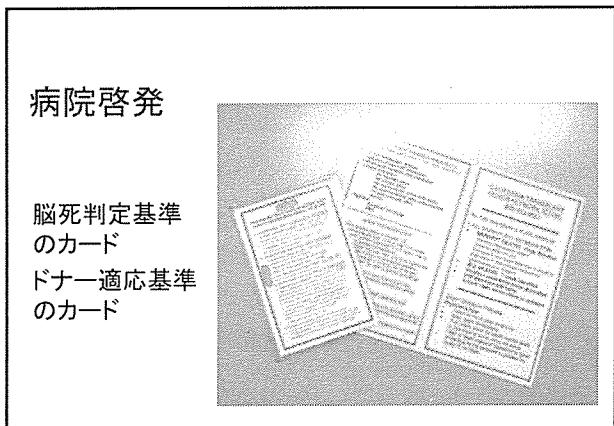
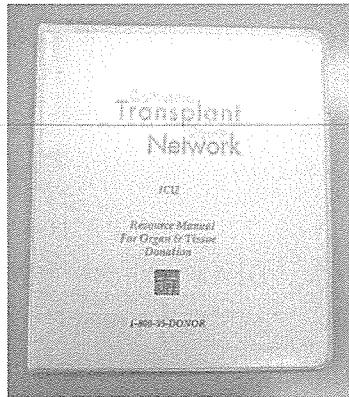
ドナー
表彰式典
記念メダル
冊子





病院啓発

提供病院
ICUマニュアル

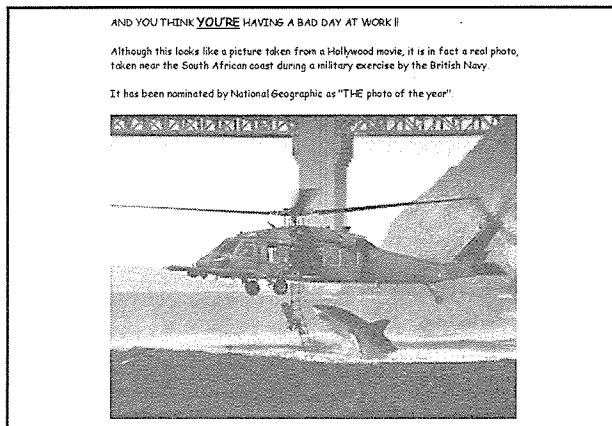
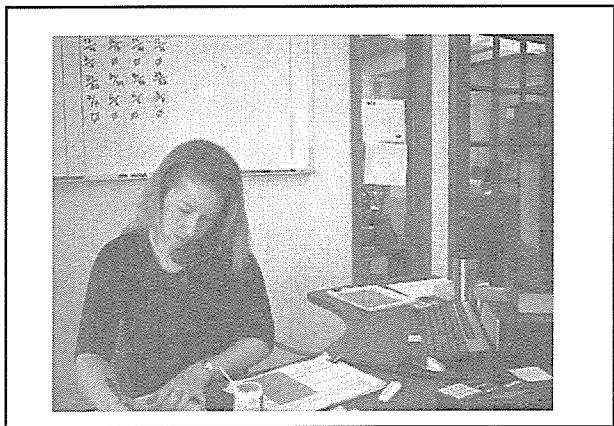
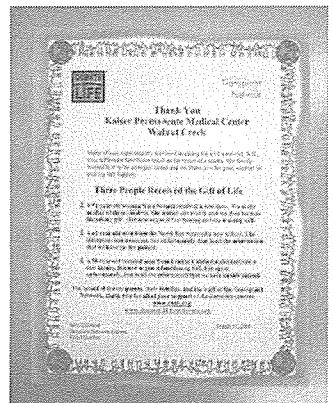


病院啓発

脳死判定基準
のカード
ドナー適応基準
のカード

病院啓発

提供後の報告
ナースステーション等の
掲示板に貼る



アメリカ カリフォルニア移植ドナーネットワーク ドナーファミリー支援担当者の職務内容

肩書 ドナーファミリー支援担当者

職務概要

ドナーファミリー支援担当者（DFA）は、臓器・組織の移植を通じて人々の命を救いあるいは長らえるというカリフォルニア移植ドナーネットワーク（CTDN）のミッションを支援していただきます。また、DFAにはドナーファミリーからの要望に応じて、細やかな配慮をしながら、ドナーファミリーへのフォローアップ業務を担当していただきます。

DFAはドナーファミリーに死別悲嘆についての知識を提供するとともに、家族へ個別にアセスメントを行い、死別悲嘆対応のための書籍、及びドナーファミリーの集まりや、悲嘆ケアの専門家などを適宜紹介します。

また、DFAは臓器・組織提供の流れに関する問題などへの対応を担当します。

臓器提供について個々の家族に総合的なアセスメントを実施したのち、移植コーディネーターに報告をしていただきます。さらに、社内スタッフとも綿密に連携を取り、ドナーファミリーに提供される支援をより高めるための提案などもしていただきます。

求められる資質と資格

臓器・組織提供の過程で悲嘆にある家族への対応、または専門業務としてのカウンセリングの経験が最低5年以上ある方で、危機的状態にある方への介入、悲嘆カウンセリング、個人情報の管理能力について上級のトレーニングを受けた方。臨床心理学もしくは社会福祉など行動科学分野で上級の学位があれば尚望ましい。CTDNが担当する地域への出張あり。保険加入済みの自動車と運転免許が必要。

スキル

深い思いやりと倫理感を持ち、組織誠実で、相手を尊重、多様性、個人の尊重、イニシアチブがあり、チームワーク、知性のある方。対人関係、コミュニケーション能力に長けていること。自発的に行動できると同時にチームの一員として活動できること。

家族への個別アセスメントの高度なスキル、必要に応じて、外部機関と適切に調整を図れるだけの知識と判断力を有すること。

特に求められる資質

緊急の呼出しに対応可能なかた。重要で機密性の高い情報を正確に評価判断するため、読む、聞く、話す事が充分に出来る者。

職務内容

I CTDN のドナーフォローアッププログラムの全ての項目を遂行

- A ドナーフォローアップに際しては任意に、独立した判断を行なう
- B 臓器提供の流れについて話合う際やドナーフォローアップの際に、ドナーフォローアップ担当者とも連携を図る
- C ドナーフォローアップを実施した後は適宜職員に結果報告をし、また今後のスキルアップの為になる場合は必要に応じて全社員に情報共有する
- D 臓器提供後の結果について、ドナーフォローアップ担当者に手紙を記す
- E 全ての家族フォローはマナーをもって行なうこと。法令遵守について上司に報告をする。
- F ドナーフォローアップ担当者は、ドナーフォローアップのプロセスを理解いただくなどの普及啓発活動をする、また適切な専門機関を紹介するなど、ドナーフォローアップ担当者へ積極的にコンタクトをとる
- G ドナーフォローアップ担当者は、家族会などについて適宜紹介する
- H ドナーフォローアップ担当者は、ドナーフォローアップの経過についてお知らせする
- I ドナーフォローアップ担当者は、ドナーフォローアップ担当者から情報提供や支援の依頼に対してタイムリーに対処し、思いやりを持って対応すること
- J 患者様やドナーフォローアップ担当者の秘密を守る
- K ドナーフォローアップ担当者は、ドナーフォローアップ担当者と連携を図り、ドナーフォローアップ担当者について最新の情報を提供する
- L ドナーフォローアップ担当者は、ドナーフォローアップ担当者とやり取りした書類は正式書類に記載し、ドナーの医療記録は1年間保管する
- M ドナーフォローアップ担当者は、ドナーフォローアップ担当者と連携を図り、ドナーフォローアップ担当者について社内スタッフに最新情報を伝え、また社内スタッフが特定のドナーフォローアップ担当者に対応する必要があればその調整を図る
- N 提供を拒否した家族へのフォローアッププログラムの展開

II レシピエントとのコミュニケーション

- A ドナーフォローアップ担当者は、ドナーフォローアップ担当者と連携を図り、ドナーフォローアップ担当者との異国間のコミュニケーションには次の内容を含む：
 - 1) やり取りが適切であることを確認する
 - 2) ドナーフォローアップ担当者がレシピエントの手紙を受取る事を希望しているかどうかを確認する
- B ドナーフォローアップ担当者は、ドナーフォローアップ担当者と連携を図り、ドナーフォローアップ担当者とレシピエントの双方で合意があった場合に、家族サービス支援部や移植機関の支援のもとでレシピエントとの面会を希望するかどうか、ドナーフォローアップ担当者の意向について面談評価する

III CTDN 職員と家族の資源

- A 適切な団体の紹介。参考文献や支援団体、セラピストなども含む
- B 院内スタッフ向け研修や、指定のトレーニングに必要に応じて参加する
- C CTDN の新入社員へのオリエンテーションに出席、ドナーフォローアップ担当者と接する業務について、悲嘆反応、死別への対応などについて講義する

- D CTDN スタッフの研修で家族対応や悲嘆への対応等に関する部分に、必要に応じて参加すること
- E 臨床または悲嘆反応についての短期研修に参加すること
- F 上長から要請があれば、年次開催 CTDN ドナーファミリーの集いをサポートする
- G CTDN スタッフが特に困難な家族対応にあたっていれば、スタッフをサポートする
- H スタッフ会議へ出席し、ドナーファミリーの最新状況や、家族対応の現場で起きている問題点等について、スタッフに伝える
- I 家族説明担当者や地方スタッフの会議への参加・貢献
- J クリニカルマネージャー、IQS 統括部長や役員に相談しながら、法律や危機管理に係る問題の優先順位づけ(判断)をする

VI 専門性／人柄

リーダーシップを発揮し、社員や移植機関職員への助言をするために、専門的な能力知識の向上に努めること

- A 臓器提供や臓器の配分について、専門学会の現役メンバーとしてワークショップやセミナーに参加するなどして常に最新・最高水準の知識を得ておくこと
- B 社員教育やトレーニングにおいてリーダーシップをとること
- C 彼らのストレスについて、報告、聞き、管理する責任を負う

VII 社員教育

- A クリニカルマネージャーが社員個々に対するトレーニングの必要性を見極め、推進するのをサポートする
- B 社内研修、業務報告、その他の教育体制を CTDN と外部機関双方の要求に応じて提案する
- C 問題のある特殊な場合や、臓器提供者に接触する際の意思決定を支援・助言等についての研究結果や記事などを紹介する

VIII

- A 家族への説明時やその後の家族へのケアをより高めるための企画・推進
- B 臓器提供プロセスの質の見直し向上していくためのプロジェクトの推進にあたり、クリニカルマネージャーや QA マネージャーに提案をしていく
- C 常に良好な職場環境を維持し個々に対し敬意を払う
- D 経費、賞与以外について財政責任を負う
- E 正確な記録と経費使用を維持し、完了後は報告すること

IX その他

- A CTDN の支部であるドナーファミリー支援グループの要求や可能性を評価観察する

家族支援のツール①



Writing to

レシピエントへの

Transplant

手紙の

Recipients

書き方

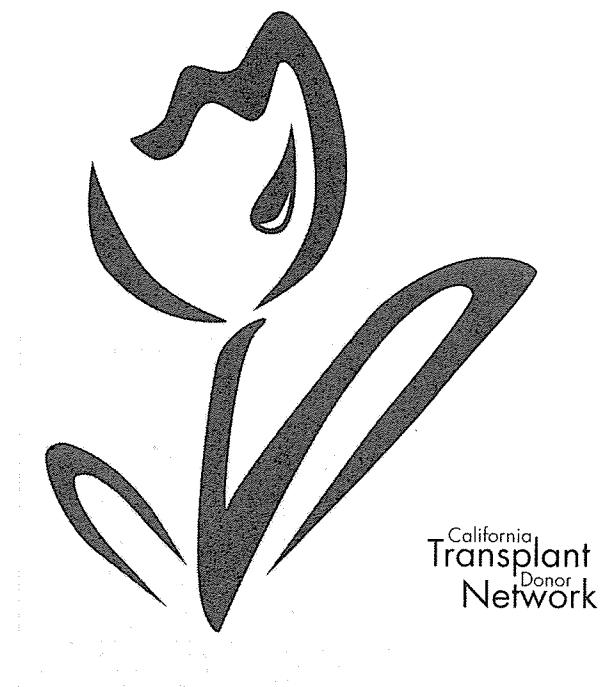
A Guide for

ドナー家族への

Family Members

手引き

of Organ Donors



カリフォルニア
臓器移植
ネットワーク
(CTDN)

レシピエントへの手紙の書き方

レシピエントに手紙を書くかどうかは人それぞれですが、書くことにより、とても価値のあることで癒しをもたらすことがあります。多くのレシピエントは、ドナー家族から受け取る手紙やカードに感謝の意を表します。

あなたがレシピエントに手紙を書いても書かなくても、我々はあなたの考えを尊重します。

「ドナー家族の方からお手紙を大変嬉しく受け取りました。私の家族はその手紙のおかげで、感謝を表す機会をいただき、そして敬意を持ってドナー家族の不幸な喪失を知ることができました」

移植を受けたレシピエントより

レシピエントに手紙を書くためのガイドライン

通信手段としては、簡単なカード、ノートや手紙などでも構いません。ワープロでも手書きでも構いません。匿名もいいですし、姓名や住所など自分自身についての情報を含めても結構です。

レシピエントへ手紙を書くのであれば、あなたのとるコミュニケーションは大きな影響力を持ちます。その内容が手助けとなるものであることを確かめるために、臓器移植ネットワークはレシピエントに転送する前に手紙の内容を確認させていただきます。もしその手紙をあなたに返す場合には、その理由を説明します。こちらから提案した修正が行われた場合は、再度こちらに送っていただいて結構です。

次の事項は、あなたが希望すれば書いていただいて結構です。

- ※ 愛する家族（ドナー）の年齢、性別、職業、趣味
- ※ ドナーの病気や死因
- ※ 臓器提供によって、あなたや家族、周囲の方々がうけた影響について
- ※ あなたの住んでいる場所
- ※ あなたとドナーとの関係

次のような内容を含んだ手紙はレシピエントにお渡しできません。

- ※ 相手方に面会を求める圧力
- ※ 相手方に返信を求める圧力
- ※ 他のレシピエントの方の名前を記す
- ※ 臓器提供を後悔しているような表現

手紙を書き終えたら

- ※ 手紙とは別の用紙にあなたの姓名、住所、電話番号と、愛する家族（ドナー）の名前と命日を書いてください
- ※ その用紙と、手紙やカードを、封を開じていない封筒に入れてください
- ※ その封筒を臓器移植ネットワークの家族サービス部門宛に送付してください

臓器移植ネットワークが手紙を受け取ったら

臓器移植ネットワークが手紙の内容を確認いたします。その手紙が了承されたら、我々の家族サービス部門は、レシピエントの移植センターに手紙を転送します。移植センターは手紙を確認した後、レシピエントに転送するか、または臓器移植ネットワークに、理由をつけて手紙を返送します。

もし手紙が転送されなかった場合は、理由をつけてあなたにお知らせいたします。

お返事はもらえるのでしょうか？

臓器移植ネットワークの経験上、あなたに返事として手紙やカードを送ってくるレシピエントがいる一方で、返事を書かないことを選ぶ方もいます。あなたが書こうと決めたのと同じように、レシピエントの個人の判断なのです。もしレシピエントから返事がなくても、気を悪くしないようにしていただくよう私たちはアドバイスします。多くのレシピエントは、あなたの寛大さに圧倒され、また、文章で感謝の気持ちを上手く表現できず、返事を書くことを躊躇してしまうことがあるのです。

カリフォルニア

臓器移植

ネットワーク

1611 Telegraph Ave., Ste.600

Oakland, CA 94612

(510)444-8500 FAX (510)444-8501

888-570-9400

www.ctdn.org

(訳 芦刈淳太郎、吉岡幸子)

家族支援のツール②

Memories
Live
Forever

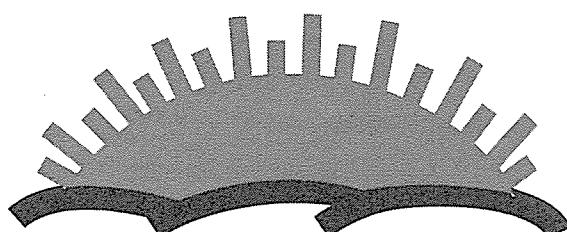
思い出は

永遠に

生き続ける

Sharon Rugg, et. al.

シャロン・ラグ、他



A MEMORY BOOK FOR GRIEVING CHILDREN

死別悲嘆にある子どものための思い出整理帳

家族を亡くした子供への冊子

思い出は 永遠に 生き続ける

愛するひと

すべてに捧げます

シャロン・ラグ、他

“この冊子「思い出は永遠に生き続ける」を何度も読み返し、どれほど素晴らしい本であるかをもっと知つてもらいたいと思いました。愛する家族を失つた子どもたちの悲嘆に対応する能力と必要性を説いた作者に感謝しています。この書籍は、子どもたちの死別反応について、正直で誠実に表しています。私は病院の臨床スタッフやボランティアにこの冊子をお勧めします。これは皆で共有できる優れたツールです。

死別悲嘆にある子どものための思い出整理帳

ジャネット・A・サーブ
ジョージア州 虹の会代表

思い出は 永遠に 生き続ける

悲嘆にある子どもたちへ

死別悲嘆にある子どもたちの思い出整理帳

この本はとても特別な本です。ことばや插絵はみなさんと同年代の子どもたちが創作しました。この本は、特にあなたのように、人生の中でとても大切な誰かを亡くした子どもが、その人を思い出すために書かれたものです。その人とは、親や祖父母や兄弟姉妹や、あるいはお友だちかも知れません。死は、言葉では表しがたい複雑な感情を起こさせます。この本では、亡くなつた特別な人と一緒に過ごした時間と思い出すための色々な方法を紹介しています。この本に載っているすべての方法を試してみてもよいし、一部だけでも構いません。この本を自分だけのための日記のようにして書き込んでいいともよいし、誰か好きな人といつしょに共有してもよいでしょう。この思い出の本を作り上げていく作業は、亡くなつた家族やお友だちと旅をするのと似ています。この特別な時間を記憶にとどめることで、自分の気持ちをもつとよく分かるようになるし、また、人生の中で大切な人とその気持ちを共有することができるようになるでしょう。

著者

私は _____ を忘れません。

(亡くなつた大切な人の名前)

プロフィール・・・

(亡くなつた人が亡くなつたあとに、ときどいて、その人のことを思つていたほど知らなかつたことに気づくことがあります。探偵になつて、特別な人のことをもつと知ることができるようになります。

_____ は _____ に生まれました。

写 真

彼／彼女は _____ で生まれました。

(どこ?)

彼／彼女は _____ に住んでいました。

(どこ?)

その人について家族や友達と話していく新たに発見したこと：

_____ は私の _____ でした。

(あなたとの関係)

彼／彼女は _____ と呼ばれていました。

(愛称・ニックネーム)

この写真は _____ で _____、_____ が撮りました。

(どこ) (いつ) (だれ)

の絵

好きだったもの

その特別な人のことを言葉で書く子供もいますし、絵で描いて表現する子どももいます。下のスペースに亡くなつた家族・友人などの絵を描いてみましょう。

あなたは亡くなつた特別な人との間で、共通して好きだったものがあつたかもしれませんーそうでなかつたかもしません。下のスペースに、彼／彼女の好きなものと、あなたの好きなものを書いてみましょう。

_____の好きなもの／私の好きなもの

食べ物	_____
色	_____
場所	_____
歌	_____
趣味	_____
お話	_____
ゲーム	_____
遊び	_____
映画	_____
本	_____
ほか、	_____

あなたが亡くなつた方と一緒に楽しく過ごした様子を絵に描いてみるか、アルバムの中から写真を探してみましょう。それがあなたにとって、大好きな思い出の一つになるでしょう。

時として、大好きな思い出を手記や日記に書くことはとても役に立ちます。ある子どもが書いた例を紹介します。

“ぼくはおばあさんと一緒にジンジャーブレッドの家をよく作りました。あるときおばあさんは冗談でキャンディーを全部隠してしまったのですが、ジンジャーブレッドの砂糖飾りが乾く前に返してくれました”
ジュリー

“大好きなおじいさん「ポップ（ニックネーム）」の思い出は、おじいさんの最後の姿です。「ポップ」の家で感謝祭に家族みんなで集まりました。ガンが進んで車イスが必要なほど弱っていました。私は車イスに座ったおじいさんの膝の上に乗り、家族みんなにあいさつして回りました。私はおじいさんがとても大好きでした”

アンジェラ

下のスペースに、_____と過ごした特別で大好きな思い出について書いてみましょう。

体の老化や、病気や怪我によって、生きていくために必要な身体の機能が働かなくなってしまったときに、死は起ります。人は死んでしまうと食べることも、眠ることも、息をすることも、そして考えたり感じたりすることもできなくなります。私たちはみな目に見える身体を持っていますが、同時に、多くの人は精神や魂といつた目に見えないものも持っていると信じています。そして、多くの人は、死んでしまうと魂が身体から去ると信じています。それが起こった後は、私たちの身体には痛みを感じないです。とても静かで安らかな状態になります。

どのように _____が亡くなったのか：

どこで亡くなったのか：

いつ亡くなったのか：

特別な人が亡くなった時に、「さようなら」をいうことはとても重要です。亡くなった人の家族や友人は、多くの場合、その人をたたえ、思い出を偲んでお葬式をします。牧師さんや先生、親しい友人や家族が、その人の思い出をたたえて、追悼のあいさつ、つまりお別れのあいさつをすることもよくあります。追悼のあいさつは、その人の人生が他の人にどのような意味を持っていたか、とても個人的な方法で伝えるものなのです。

ローラはおじいさんについてつづった言葉をお別れのあいさつとして書きました。

“とても烟づくりが上手な私のおじいさんは、今までの中で一番優しい人でした。うちの烟で、おじいさんは一生懸命に手入れしている人はいませんでした。周りの人と一緒に過ごすのを楽しみにしていて、採れたトマトをみんなにあげていました。おじいさんはこの先もずっと私の思い出の中にいます”

下のスペースに、あなたにとつて大切な人への、お別れの言葉を書いてみましょう。

お葬式の思い出

葬儀のしおりがあればコピーを貼ってみましょう。または、自分で葬儀のしおりを考えてみましょう。

友人や家族のお葬式で何が特に印象に残っていますか？お葬式に行つていかない場合は、お葬式について聞いたことを書いてみましょう。

葬報記事は、死亡の知らせや葬儀の日程・場所についての新聞記事です。記事には遺族も掲載されます。下のスペースに新聞の葬報記事のコピーを貼ってみましょう。または、自分でその記事を書いてみましょう。

あなたの信仰

クリスティンは、死後のことにについて人はそれぞれ違った信仰を持つている事について書きました。生命がただ終わるだけだと信じている人もいます。しかし、多くの人々は、死とは人生の終わりではなく、我々が通る一つの通過点だと信じています。

あなたやあなたの家族は信仰がありますか？

あなたの信仰は、あなたの悲しみを和らげるのに役に立っていますか？

死の後にどのようなことが起ることがありますか？絵に描いてみましょう。

あなたの感情

大切な人が亡くなつた時、あなたはとても奇妙な混乱した気持ちを感じたでしょう。時々泣きたいような気持ちになつたかもしません。男の子でも女の子でも、大人の男性でも女性でも、いつでも泣いて構わないのです。心が傷ついたときにはそれを表に出すことが大切です。そして、時として涙がその手助けをしてくれます。